



かき福乃いらあひ

9

73
3067



明 3 傳 7
3.067



吾家之...
[Red seal impression]

...

...

...

...

...

...

...

...

...

海をよの地しきあるはむくのゆひ
 つくさむねのまあるしよよのねつ
 かくのまのまのまのまのまのま
 しよのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま
 のまのまのまのまのまのまのま



かたねのいろあひ



梅のね

十一月より二月まで

あまてまき紅 うら紅梅

うめけきぬ 上よおなり

あまて白 うらすけ

一重梅 上よおなり

あまて白 うらあれなる

紅梅けきぬ 上よおなり

あまて紅 うらむらむら

又ハあまて紅梅 うらすけ

つぼみうえ

おもてお梅 うらそい

わうふゆのみきぬ 正月二月

おもてうすまき うらこきま

おなまよ乃きぬ

おもて白 うらま

又におもて白 うらもえぎ

又におもて白 うらうすま

喜梅

おもてうらとむたはまきま

黄柳

おもてうすまき うらあま

はらふのみまぬ

おもて白 うらあま花

又におもて白 うらまきま

又におもて白 うらむら

又におもて白 うらえびぞめ

又におもて白 うらうらあめ

又におもてまき うら春花

うら花ぞら

おもて白 うらとれなあ

かぞはら

二月三月

おもてまき うらあり花

又におもてまき うらまきま

又におもてまき うらまき

又におもてまき うらま

又におもてまき うら花を

梅もえ木

おもてまき うらあり花

又ハおもへもえぎ、うらそなび
又ハおもへもえぎ、うらすまじ
又ハおもへもえぎ、うらむらじ
又ハおもへもえぎ、うらきき二あり

紅櫻

おもへもえぎ、うら紫

松さくら

おもへもえぎ、うら紫

白ゆめら

おもへ白、うら黄

桃乃きぬ

二月

おもへられなる、うら紅梅

又ハおもへ白、うらこれなる

花ゆづり、やぶきぎのこも

おもへうすくら紫、うら黄

又ハおもへ黄、うらくらハ

又ハおもへ黄、うらもえぎ

うら山吹

おもへ黄、うら紅

又ハおもへ黄くら紫、うら紫

又ハおもへ黄、うらもえぎ

長やぶら

おもへあき、うら黄

ア

おもへすう、うら紫

又ハおもへ白、うらこれなる

えちつア

おもへむらじ、うら紅

又ハおもてすけう うらま
又ハおもてうすまき うらニキコバチ
いそつど

おもてと社さる うら紫

白つど

おもて白 うらむらじら

紅つど

おもてさけう うら紅

又ハおもてすけう うら藤紅

はわらび

おもてむらさき うらま

すみねのきぬ

おもてむらさき うらうす紫

はほそみれ

おもてむらさき うらま

うらがはね

三月 四月

おもてうす紫 うらま

又ハおもてむらさき うらうす紫

白ふら

上1回ド

おもてうす紫 うらまき紫

ぼうしん

上1回ド

おもて白 うら紅梅

又ハおもてうすけう うら白
又ハおもてうすまき うらまき赤

夏

すけ花

四月

おもて白 うらまき

又におもてうらまき

わろへで

おもてうらまき うらまき

又におもてうらまき うらまき

おもてうらまき

おもてうらまき うらまき

又におもてうらまき

又におもてうらまき

おもてうらまき

おもてうらまき うらまき

おもてうらまき

おもて紅 うらまき

わろへで

おもて紅 うらまき

又におもてうらまき

ねあやめ

おもてうらまき うらまき

花うらまき

おもてうらまき うらまき

又におもてうらまき

おもてうらまき

おもてうらまき うらまき

又におもてうらまき

苗色

おもてうらふもにうすもえき

百合

おもて赤 うら朽葉

あふち

四月五月

おもて紫 うら落むつこよ

又おもてうすを

うら青

なごい

五月六月

おもて紅梅 うら青

又おもてうすを うら青

又おもてくれなる うらうす此よ

又おもてをらう

うら赤きすけ

花なごい

おもてむらさき うらくまなる

白なごい

おもて志返 うらほをう

おもてうら

おもてうらうらとにくれなる

なごい

おもて青 うらむらさき

秋

かぢけきぬ

おもてうらうらとにえなる

萩乃きぬ

おもてをらう うらほを

又におもて落ひらさま うらま
又におもて落 うらこきまえま
七月より九月まで

萩がほね

おもてひらさま うら落葉

とみなが

おもてうらまぬき黄 うらま

又におもて落 うらまるぎ

花ぞう

おもて白 うら落花田

ふらぢう

おもてうらまにむらさま

きちかう

おもてうらまにむら田

又におもてうらま うらま

あはがほ

おもてうらまにむら

つきいん

おもて花田 うら落花田

あまふせうね

九月十月

おもておろ うら落葉

又におもて白 うらまにむら
又におもて白 うらまにむら

はがみ

九月九日より十月
用上

おもておろなる うらま

黄菊

おもて黄 うらま

ふれなるるる

おもて紅 うら青

うつろひ菊

おもて中野 うら青

又におもてむらさき うら白
又におもて紫 うら黄

ふれなるる

おもて寸草 うら青

又におもて黄 うら青
又におもてこき花田 うら紫

志とん

おもてうす色 うら青

又におもてむらさき うら寸草
又におもてもろ うらもろ

もみぢら

おもて黄 うら赤

又におもてくれなる うら青

黄もみぢら

九月十月

おもて黄 うら赤

又におもて黄 うら青
又におもて黄 うら紅
又におもてもろ うら青

青もみぢら

おもて青 うら赤

又におもて赤本 うら黄
又におもて青 うら紅
又におもてこき花 うら青

かへてこき花

おもてうす色 うら黄

もいづもいづ

九月

おとけそいづ うら黄

又ハおとけ黄 うらうす前反

おとけわいそ

おとけひそん うらうす

くら紫

おとけ経紅ぬき黄 うら黄

又ハおとけうす紅ぬき黄 うら白

おとけちぞ

おとけあそいけくろいあ

又ハおとけ青 うら黄

黄朽梨

おとけ黄 うらくらそ

冬

枯色

おとけ白 うら黄

又ハおとけ黄 うら黄
又ハおとけ黄 うら黄

から紫

おとけ青 うら黄

又ハおとけ黄 うらうす前反

氷けまわ

おとけ白みじま うら白

又ハおとけうすのうすうら
うらうす

初雪

おもて白 うら白れやうらうら

ゆきうのしき

おもてエツル うら紅

又おもて白 うら紅梅

つゞき くれ春も用ふ

おもてすけ うら赤

雑

松の枝ね

おもてき うらむしき

又おもて紫 うら赤

又おもてもえ木 うらむしき

えびぞめ

おもてすけ うら花田

け乃き

おもて白 うらき

みるいろ

おもて花本 うら赤

ひそく色

おもてすけ うら花田

とんこ

おもてもえき うら白

きれこがき

おもて白みき うらき

これらうぐさ思ひうらも用ふ

よびいろ

これい表の時きこもこ事の時もも
こと本より空のなりこれほごまつけて
はまうははあごべー又うつー花もよ
きむるこもあまきうーうーがうよ事
とまーしてし

右れいんくは憶あれ海うすやう
とがさねまきさいしあまあ〜く
まい〜ゆらあその時よあ〜ん
てをよま合せようの歌れやうよ
どめて〜うびあぶ〜よ〜い極乃
うの枝はら〜る〜る〜れ紙よかくさど
くあ乃る〜る〜る〜るのうもれも
ちあゆくと雪とんむ時〜雪よよせ

あ〜る〜る〜るも又まなまがちな〜ん
とおも〜る〜る不な〜る〜るまらふ
〜〜が〜る〜るをわよふれて〜る
〜〜りな〜る〜る〜る〜る

あ〜る〜る〜る

真淵

このかきつゆのをもあひい紀乃どの女
房れもともよそ野宿乃翁のまき
〜〜〜〜〜右き家記装束れ抄〜よ
ハ物〜さ〜る〜れ名もこれ〜れ〜る〜る
女房乃懐杖とりかきねん〜あ〜は〜る
か〜る〜る〜る〜る〜る〜る〜る
もおほ〜る〜る〜る〜る〜る〜る
〜〜〜〜〜み〜る〜る〜る〜る
あれ〜る〜る〜る〜る〜る〜る

二わづりけ社を不書其名をいふ
きそあがられざわいさる

春海

寛政十一己未年十月

江戸日本橋通壹町目

書林 須原屋茂兵衛

書林
須原屋茂兵衛

